

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書**地域密着型サービスの外部評価項目構成**

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4679100166
法人名	有限会社ソフィア・インターナショナル
事業所名	グループホーム港ヶ丘
訪問調査日	平成19年11月7日
評価確定日	平成20年3月4日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年1月8日

【評価実施概要】

事業所番号	4679100166		
法人名	有限会社ソフィア・インターナショナル		
事業所名	グループホーム港ヶ丘		
所在地	鹿児島県大島郡徳之島町亀徳2239番地 (電話)		
評価機関名	特定非営利法人NPOさつま		
所在地	鹿児島市下荒田2丁目48-19		
訪問調査日	平成19年11月7日	評価確定日	平成20年3月4日

提供票より)(19年11月7日事業所)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 9 月 17 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 2 人, 非常勤 6 人, 常勤換算	8

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り 1階建ての 階 ~ 1階部分		
------	-------------------------	--	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	200 円	
敷金	有(0 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	50,000 無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

4) 利用者の概要(11月7日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	1 名	要介護4	1 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 91 歳	最低	83 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	徳之島徳洲会病院・太歯科医院・くらもと眼科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

徳之島一番の市街地亀徳から少し離れた丘に当ホームがある。大海原がみえ、近くにはサトウキビ畑もあり利用者にとって徳之島にすることが毎日実感できるホームである。管理者・職員がなじみの関係を作る為の工夫もしている。利用者が食事づくりにも積極的に参加し、島の食材を取り入れ栄養士も時々訪問し、楽しい笑顔のある生活をしている。個人・グループでの散歩も取り入れ、地域行事へも積極的に参加しているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	トイレ入口のドアを取り外してカーテンにしてあり、プライバシーが守られていないのではと指摘があった。カーテンの幅や長さなど職員で話し合いプライバシーの確保をと考えて取り組んだが、足元やすき間などに工夫が求められる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員と一緒に自己評価に取り組んでいる。「実践はしているのに言葉(文章)で表現することが難しい」と感じながらも取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	推進委員からグループホームや職員への地域参加を提案する積極的な意見もでてい。ボランティアのサロン活動を導入したらなどの意見もあり、その内容を活かすように取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族会・敬老会を一年に一回実施し来所時に意見等聞くようにしている。二ヶ月に一回自宅訪問もして家族の考えや要望をきいたり、個人の部屋にお便り帳も置いて意見を聞き出す工夫をしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	「あなたらしさをつつみ笑顔の毎日を暮らす」が理念であり日常生活へ取り入れるために、中学生の体験学習・民生委員・婦人会のボランティア受け入れや地域行事への参加、運営推進委員主催のレクリエーションに地域の多くの人々が参加したり、交流も多く連携も取れている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型としての理念をつくりあげるに至っていない。		地域密着型の理念をつくりあげることが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	みんなで考えた理念をもとに毎日朝礼で唱和して実践につなげるように心がけて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	中学生の体験学習や、近隣の人の野菜の持参、庭の草刈りなどで訪問者も多い。 民生委員や婦人会の人がボランティアで訪れることもある。 勤労者体育会館で、運営推進会議・グループホーム主催でレクリエーションをして地域の人達が多く参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員と一緒に自己評価に取り組み自己評価表をまとめ上げた。実践していることを文章で表現することが難しかったが、自己評価・外部評価を活かした改善に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議「地域の敬老会へ参加して欲しい」「地域行事に職員も参加してグループホームをアピールして欲しい」「ボランティアのサロン活動を導入したら」等の発言もあり、意見を取り入れサービス向上に活かしている。二ヶ月に一回予定しているが実施できないときもある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム内で骨折があった時など役場に事故報告し、今後のこともアドバイスを受けた。 台風時に役場職員の立ち寄りもあり、行政と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	個人便りに毎月の請求書の他に手紙を添えて送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会・敬老会を一年に一回実施し、意見交換会を実施している。さらに来所時に聞いたり、二ヶ月に一回自宅訪問も実施している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動のある職員の情報は事前に提供して、新しい職員の情報も写真など資料を見られるように配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年、介護福祉士に2名合格し、職員の半数の4名が資格者となった。さらに今年度も1名が受験したほか、地区内外で開催される研修会にも積極的に参加するなど職員育成の意識は高い。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大島地区グループホーム協会、徳之島地区グループホーム協会での研修会などに活発に取組み、地域への啓発と相互にサービスの質を向上させていける取組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望者へグループホームを知ってもらうことの体験を通じて安心納得の上で、グループホームに来てもらい利用者と一緒にお茶を飲んだりして同じ時間を過ごしながら始めるような取り組みをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理の上手な人には、味付け・作り方を一緒に教えてもらいながら進めている。 畑仕事や散歩時に植物の名前や特徴・薬草としての効果などを教えてもらいながら支援している。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一時帰宅の支援や、家族の訪問時に利用者と家族の会話の中や作業の中などで利用者の意向の把握に努めている。 畳の間が落ち着く人にはベットでなく、畳の間で布団を使用するなど、思いや意向を踏まえた支援をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	夜勤者以外は全員参加で計画作成をしている。 担当者会議の内容が計画にも反映されている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護認定の更新時には計画的な見直しはしている。状況の変化があった時は、朝礼時に計画変更の提案をするようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	自宅訪問・美容・理髪サービス・病院受診支援等柔軟な対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、眼科・歯科・病院と同系列の病院への受診支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の理解・協力ができないことであるとの認識で主治医との密な連携や全員の方針として共有して行けるよう検討中である。		家族の支援や経済負担、その他終末期の役割分担について合意づくりへの取り組みが求められる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	月例会でプライバシー確保の指導や職員間でも気付いた場面では注意しあうようにしている。 個人情報・守秘義務を守ることを誓約書を交わし尊重するようにしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の希望にそった日程が過ごせるよう、買い物が好きな人は一緒に出かけたり、朝は食事時間は決めずまちまちに食している。入浴もその人のペースに合わせて提供している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理前に好きな料理・食材を聞いたりしている。利用者も調理に参加している。季節・島の食材も活用し、全員で配膳・下膳・片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の意向や健康状態も把握して入浴をしている。よもぎ湯・みかん風呂などもあり入浴を楽しめるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人に合った役割、したいことを理解して、畑仕事・朝のカーテン開け・カレンダーめくり・切り干し大根作りなど無理のない役割ができる支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個人やグループで行ける買い物・地域美化活動の空き缶拾い、近くの公園への散歩と地域貢献や地域の資源を利用した外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関を閉めると不安がり、開放すると安心し落ち着くようになったことなど、体験的にも、また理論的にも鍵をかけることの弊害を理解し、鍵はかけていない。玄関が坂道でもあり特に注意をしつつ自由に出入りできるようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て6月に実施、夜間想定も実施している。しかし夜間訓練はしていない。備蓄として水は溜めている。飲料水はその都度溜めるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の意見を聞きながら、嗜好も把握している。栄養バランスを考慮し病院の栄養士に、味付け・栄養の指導を受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には花を飾ったり、廊下には長イスがあり休みが取れるようになっており、座って会話を楽しんでいる。テレビ・ラジオは不必要な音がないように配慮している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人らしい居室作りのために、馴染みの物品等を持ち込み落ち着いた空間を作っている。		